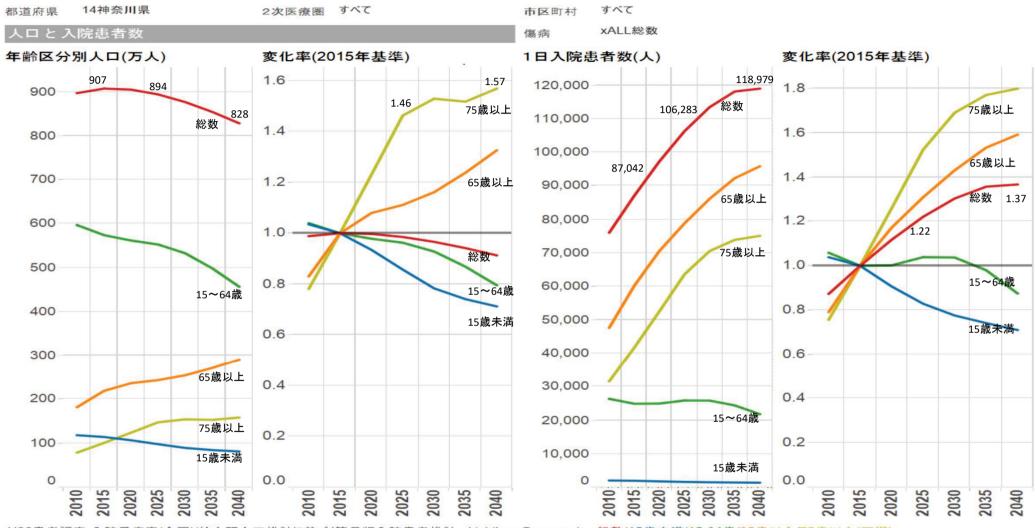
## 県央地域の現状

### 目 次

人口・患者数推移等	 3	~	8
医療施設等の状況	 9	~	13
入院基本料	 14	~	19
がん	 20	~	30
急性心筋梗塞	 31	~	33
脳卒中	 34	~	38
糖尿病	 39	~	41
救急	 42	~	45
在宅医療等	 46	~	47
その他	 48	~	49

# 人口·患者数 推移等

#### 県内の人口と入院患者の推移



H26患者調査-入院受療率(全国)/社人研人口推計に基づく簡易版入院患者推計 - kishikaw@ncc.go.jp **総数/15歳未満/15-64歳/65歳以上/75歳以上(再掲)** ※人口:性年齢階級別将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所)

※推計患者数:性年齢階級別人口×性年齢階級別受領率(H26年患者調査)

- ・人口は年々減少するが、65歳以上の高齢者は、年々増え続ける。特に75歳以上の高齢者の増加率が高く、2025年には、2015年比約1.46倍、2040年には約1.57倍に増加する。
- ・患者数は、2025年には、2015年比1.22倍に増加し、2040年にも1.37倍に増加する。65歳未満の患者は年々減少し、2030年を機に減少率が高まる。

#### 県央地域における人口と入院患者の推移



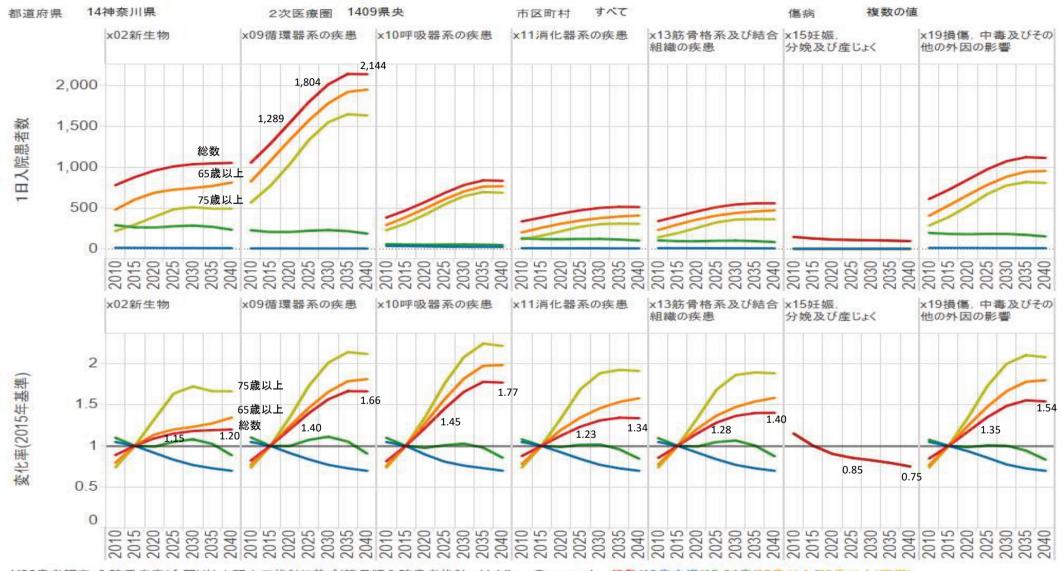
H26患者調査-入院受療率(全国)/社人研人口推計に基づく簡易版入院患者推計 - kishikaw@ncc.go.jp **総数**/15歳未満/15-64歳/65歳以上/75歳以上(再構)

※人口:性年齢階級別将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所)

※推計患者数:性年齢階級別人口×性年齢階級別受領率(H26年患者調査)

- ・人口は年々減少するが、65歳以上の高齢者は年々増え続け、2015年比で2025年は1.12倍、2040年は1.29倍となる。特に75歳以上は2015年比で2025年は1.63倍、2040年は1.67倍となる。
- ・患者数は、2015年比で2025年には1.25倍に増加し、2040年には1.38倍に増加する。65歳以上、75歳以上の患者は増え続け、65歳未満の患者は年々減少する。

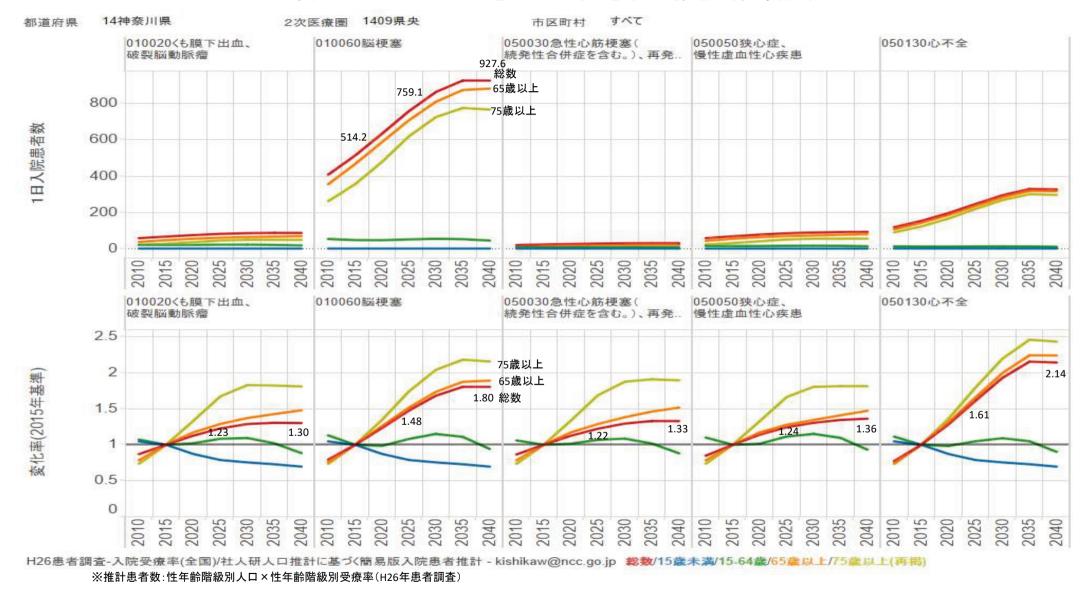
#### 県央地域における疾患別の入院患者の推移



H26患者調査-入院受療率(全国)/社人研人口推計に基づく簡易版入院患者推計 - kishikaw@ncc.go.jp **総数/15歳未満/15-64歳/65歳以上/75歳以上(再帯** ※推計患者数:性年齢階級別人口×性年齢階級別受療率(H26年患者調査)

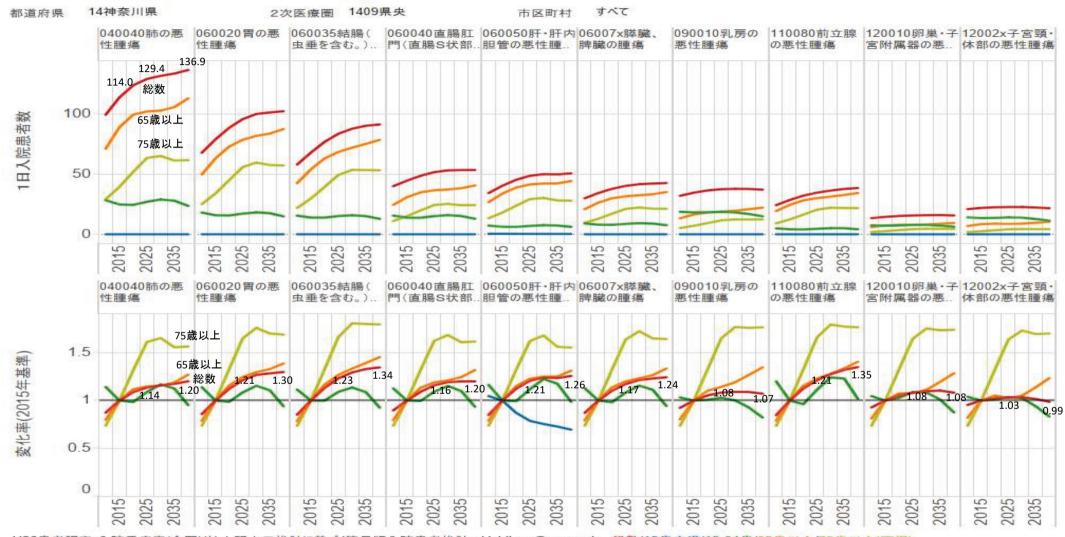
・2025年には、妊娠、分娩を除き、すべての疾患で増加する。循環器系、呼吸器系、損傷(骨折等) の疾患の増加率が高い。

#### 県央地域における疾患別の入院患者の推移(循環器系)



・2025年には、全体的に増加するが、患者数は脳梗塞が多い。脳梗塞及び心不全の増加率が高い。

#### 県央地域における疾患別の入院患者の推移(がん)



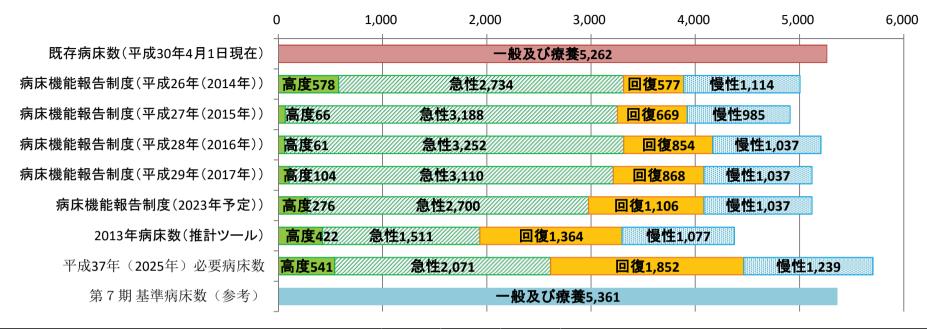
H26患者調査-入院受療率(全国)/社人研人口推計に基づく簡易版入院患者推計 - kishikaw@ncc.go.jp **総数/15歳未満/15-64歳/65歳以上/75歳以上(再掲)** 

※推計患者数:性年齢階級別人口×性年齢階級別受療率(H26年患者調査)

・2025年には、全体的に増加するが、肺がん、胃がん、大腸がん、肝がん、すい臓がん、前立腺がん の増加率が高い。

## 医療施設等の状況

### 県央地域における必要病床数(全体)



	区分	一般病床及び療養病床		合計	備考			
	既存病床数(平成30年4月1日現在)	_		5,262	H19.1.1以前に許可の有床診を含めていないことや補正 の関係から病床機能報告等の結果と数値が異なる			
	区分	高度急性期	急性期	回復期	小計	慢性期	合計	
	病床機能報告制度(平成26年(2014年))	578	2,734	577	3,889	1,114	5,003	現状把握の指標として用いられるとされている数値。 報告率94.2% 休棟中等56床を除く
現状	病床機能報告制度(平成27年(2015年))	66	3,188	669	3,923	985	4,908	同上。報告率97.6% 休棟中等239床は除く
	病床機能報告制度(平成28年(2016年))	61	3,252	854	4,167	1,037	5,204	同上。報告率100% 休棟中等191床は除く
	病床機能報告制度(平成29年(2017年))	104	3,110	868	4,082	1,037	5,119	同上。報告率100% 休棟中等27床は除く
	病床機能報告制度(2023年予定))	276	2,700	1,106	4,082	1,037	5,119	同上。報告率100% 休棟中等27床は除く
	平成25年(2013年)病床数(推計ツール)	422	1,511	1,364	3,297	1,077	4,374	将来の必要病床数の推計方法と同じ計算方法で算出した平成25年(2013年)の病床数
将来	平成37年(2025年)必要病床数	541	2,071	1,852	4,464	1,239	5,703	
参考	基準病床数			_			5,361	保健医療計画(第7期)の数値

### 県央における要介護者・要支援者等推計・介護施設等の状況

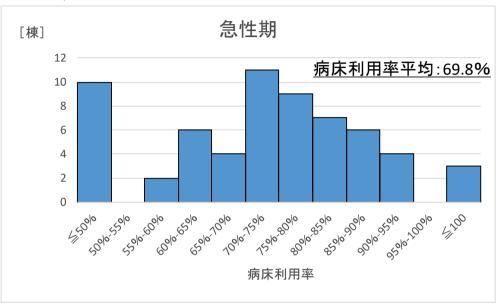
利用者数等(人)		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2025年度
17171	11/11 日 処 寸 ( ) ( )			(見込)	(推計)	(推計)	(推計)	(推計)
要支	援·要介護認定者数(65歳以上)	26,916	28,376	29,862	31,824	33,533	35,422	45,612
サー	ビス利用者数(人)	22,386	24,589	23,393	24,913	25,928	26,885	
	居宅等サービス利用者数	17,537	17,594	16,164	16,904	17,600	18,206	
	地域密着型サービス利用者数	1,697	3,774	3,744	4,193	4,428	4,634	
	施設サービス利用者数	3,153	3,221	3,485	3,816	3,900	4,045	
△≒	介護保険施設•特定施設等整備数(定員)		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	
川哉				(見込)	(計画)	(計画)	(計画)	
特別	養護老人ホーム	2,941	2,941	2,970	3,136	3,265	3,300	
介護	老人保健施設	1,605	1,605	1,605	1,605	1,605	1,705	
介護	療養型医療施設	44	44	0	0	0	0	
介護	専用型特定施設	86	176	176	176	176	176	
混合	`型特定施設	2,120	2,331	2,461	2,461	2,611	2,611	
認知	]症グループホーム	777	795	849	855	909	981	

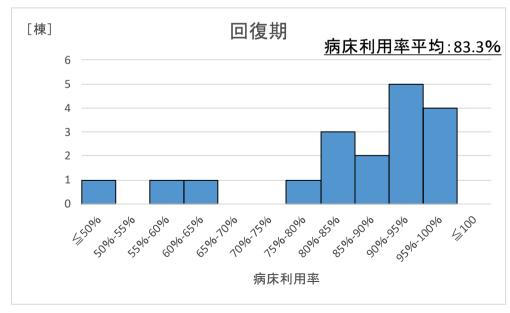
<sup>&</sup>lt;出典>神奈川県高齢者保健福祉計画

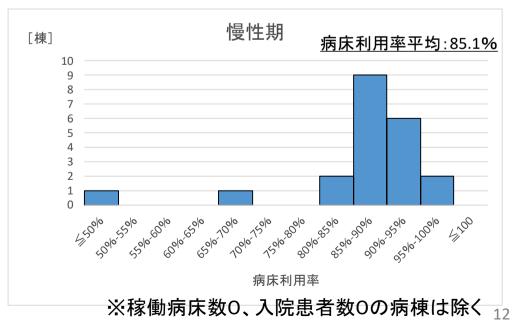
### 病床利用率の分布状況(H29病床機能報告より)

病床利用率:年間在棟患者延べ数/(稼働病床数×365日)



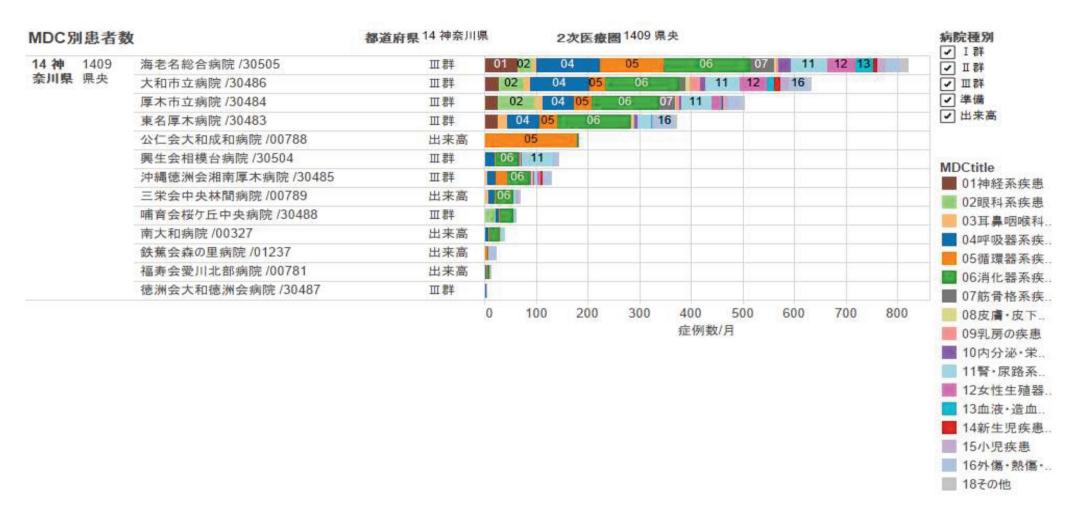






#### 県央地域におけるDPC対象病院の診療実績

(平成27年度DPCデータ: MDC別全患者)

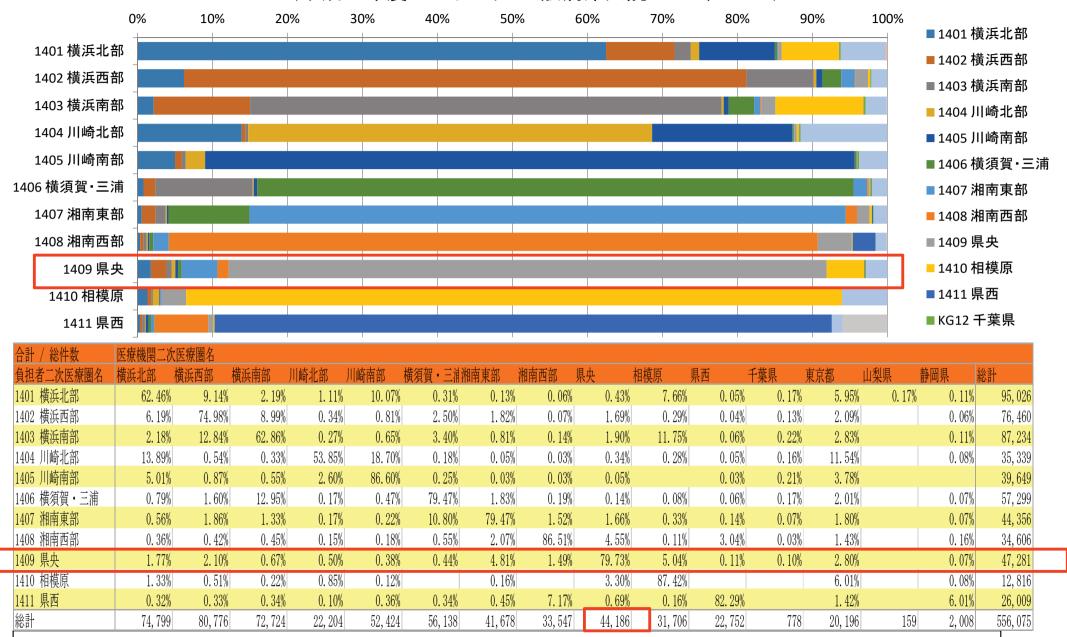


出典: http://public.tableau.com/profile/kbishikawa#!/

国立がん研究センター 石川ベンジャミン光一先生

## 入院基本料

#### 神奈川県における入院医療の自己完結率 (平成28年度NDBデータ: 一般病床入院 7:1、10:1)



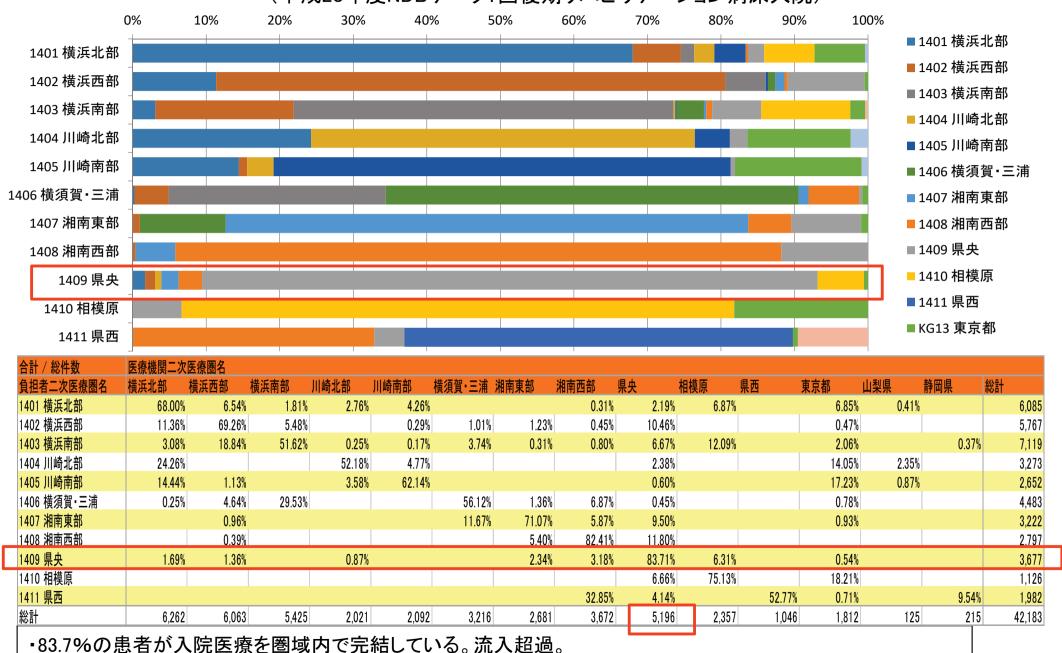
・79.7%の患者が入院医療を圏域内で完結している。流出超過。

15

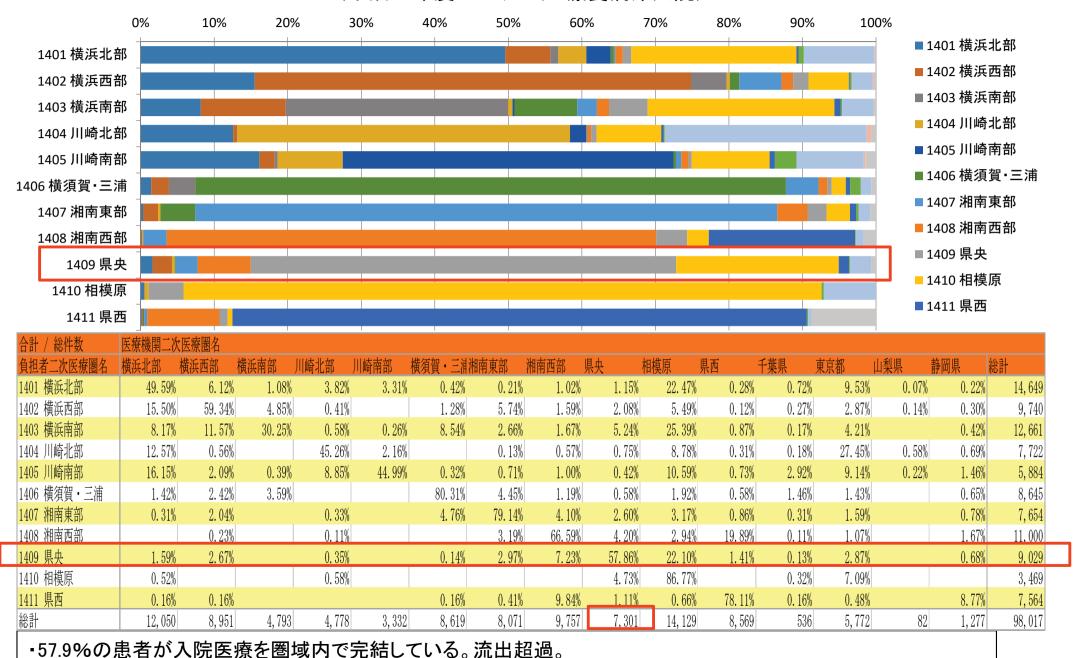
#### 神奈川県における入院医療の自己完結率 (平成28年度NDBデータ:地域包括ケア病床入院)



#### 神奈川県における入院医療の自己完結率 (平成28年度NDBデータ:回復期リハビリテーション病床入院)

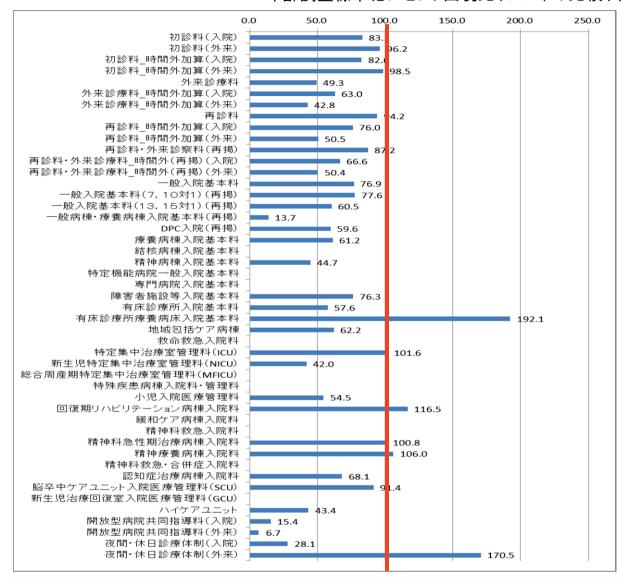


#### 神奈川県における入院医療の自己完結率 (平成28年度NDBデータ:療養病床入院)



18

#### 県央地域における入院基本料関連の医療的行為に関する 年齢調整標準化レセプト出現比(SCR)の比較(平成28年度NDBデータ)



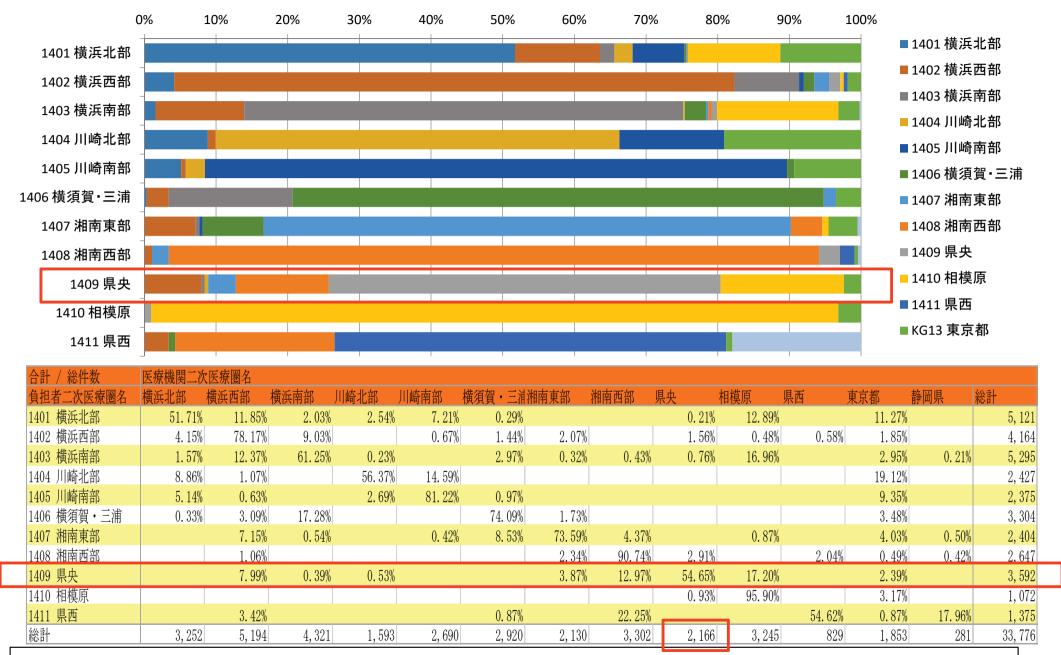
中分類	指標名	区分	県央
外来診療体制	初診料 (入院)	入院	83.1
	初診料(外来)	外来	96.2
外来診療体制	初診料_時間外加算(入院)	入院	82.6
	初診料_時間外加算(外来)	外来	98.5
外来診療体制	外来診療料	外来	49.3
外来診療体制	外来診療料_時間外加算(入院)	入院	63.0
	外来診療料_時間外加算(外来)	外来	42.8
外来診療体制	再診料	外来	94.2
外来診療体制	再診料_時間外加算(入院)	入院	76.0
	再診料_時間外加算(外来)	外来	50.5
外来診療体制	再診料・外来診察料(再掲)	外来	87.2
外来診療体制	再診料・外来診療料_時間外(再掲) (入院)	入院	66.6
	再診料・外来診療料_時間外(再掲)(外来)	外来	50.4
入院診療体制	一般入院基本料	入院	76.9
入院診療体制	一般入院基本料(7,10対1)(再掲)	入院	77.6
入院診療体制	一般入院基本料(13,15対1)(再掲)	入院	60.5
入院診療体制	一般病棟・療養病棟入院基本料(再掲)	入院	13.7
入院診療体制	DPC入院(再掲)	入院	59.6
入院診療体制	療養病棟入院基本料	入院	61.2
入院診療体制	結核病棟入院基本料	入院	
入院診療体制	精神病棟入院基本料	入院	44.7
入院診療体制	特定機能病院一般入院基本料	入院	
入院診療体制	専門病院入院基本料	入院	
入院診療体制	障害者施設等入院基本料	入院	76.3
入院診療体制	有床診療所入院基本料	入院	57.6
入院診療体制	有床診療所療養病床入院基本料	入院	192.1
入院診療体制	地域包括ケア病棟	入院	62.2
特定入院料	救命救急入院料	入院	
特定入院料	特定集中治療室管理料(ICU)	入院	101.6
特定入院料	新生児特定集中治療室管理料(NICU)	入院	42.0
特定入院料	総合周産期特定集中治療室管理料(MFICU)	入院	
特定入院料	特殊疾患病棟入院料・管理料	入院	
特定入院料	小児入院医療管理料	入院	54.5
特定入院料	回復期リハビリテーション病棟入院料	入院	116.5
特定入院料	緩和ケア病棟入院料	入院	
特定入院料	精神科救急入院料	入院	
特定入院料	精神科急性期治療病棟入院料	入院	100.8
特定入院料	精神療養病棟入院料	入院	106.0
特定入院料	精神科救急・合併症入院料	入院	
特定入院料	認知症治療病棟入院料	入院	68.1
特定入院料	脳卒中ケアユニット入院医療管理料(SCU)	入院	91.4
特定入院料	新生児治療回復室入院医療管理料(GCU)	入院	
特定入院料	ハイケアユニット	入院	43.4
その他	開放型病院共同指導料(入院)	入院	15.4
	開放型病院共同指導料(外来)	外来	6.7
その他	夜間・休日診療体制(入院)	入院	28.1
	夜間・休日診療体制(外来)	外来	170.5

#### <SCRとは>

- ・全国の年齢構成別の平均レセプト数に占める当該地域の年齢構成別のレセプト数(全国の平均像に対する比)
- ・SCR=Σ年齢構成別レセプト数×100/Σ年齢階級別人口×全国の年齢構成別レセプト出現率(※年齢は、原則5歳刻みで計算)
- ・流出入がなければ、100よりも大きければ医療充実又は提供過剰、少なければ抑制的に提供又は提供過少を意味する(100は全国平均)

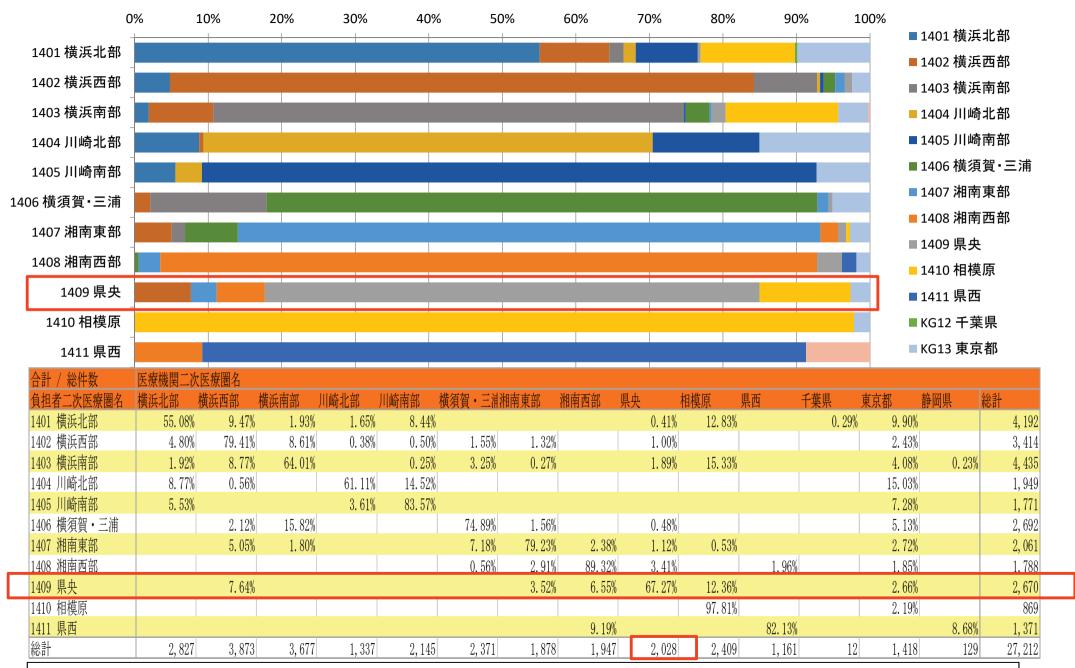
# がん

#### 県央地域における肺がんの自己完結率(平成28年度NDBデータ:入院)



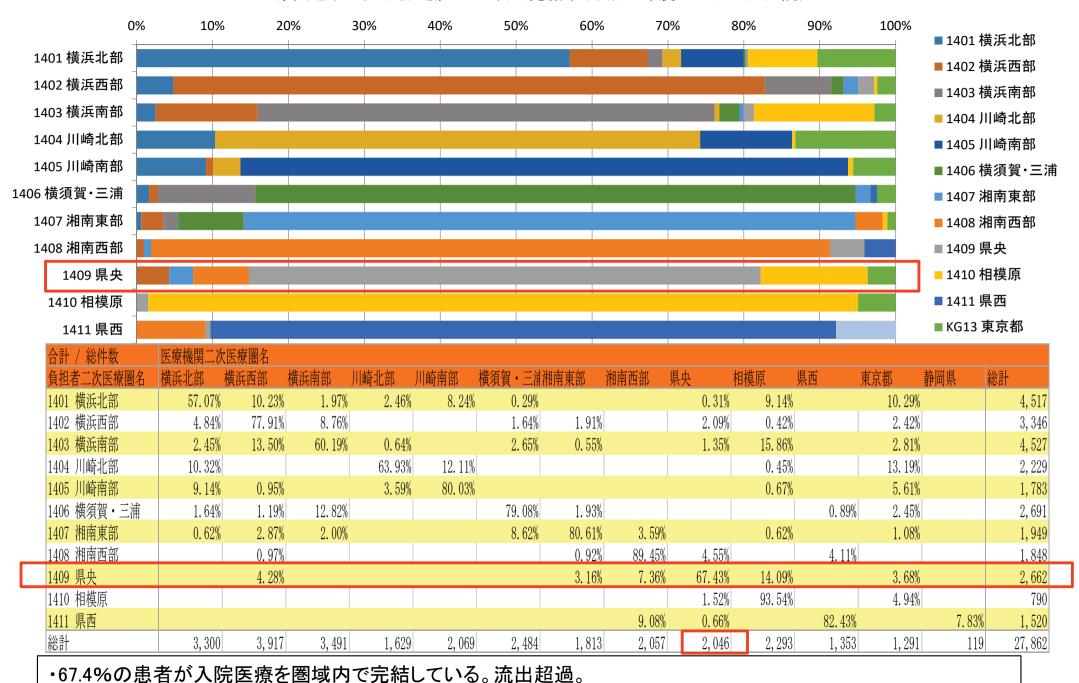
・54.7%の患者が入院医療を圏域内で完結している。相模原、湘南西部及び横浜西部への流出が多い。流出超過。

#### 県央地域における胃がんの自己完結率(平成28年度NDBデータ:入院)



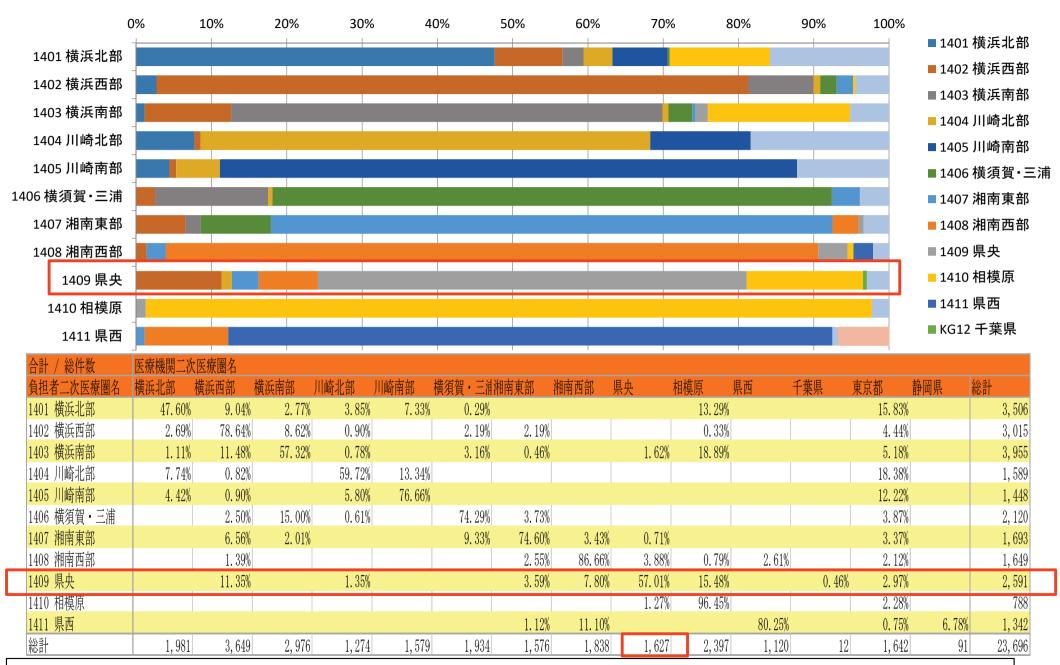
-67.3%の患者が入院医療を圏域内で完結している。相模原への流出が多い。流出超過。

#### 県央地域における大腸がんの自己完結率(平成28年度NDBデータ:入院)



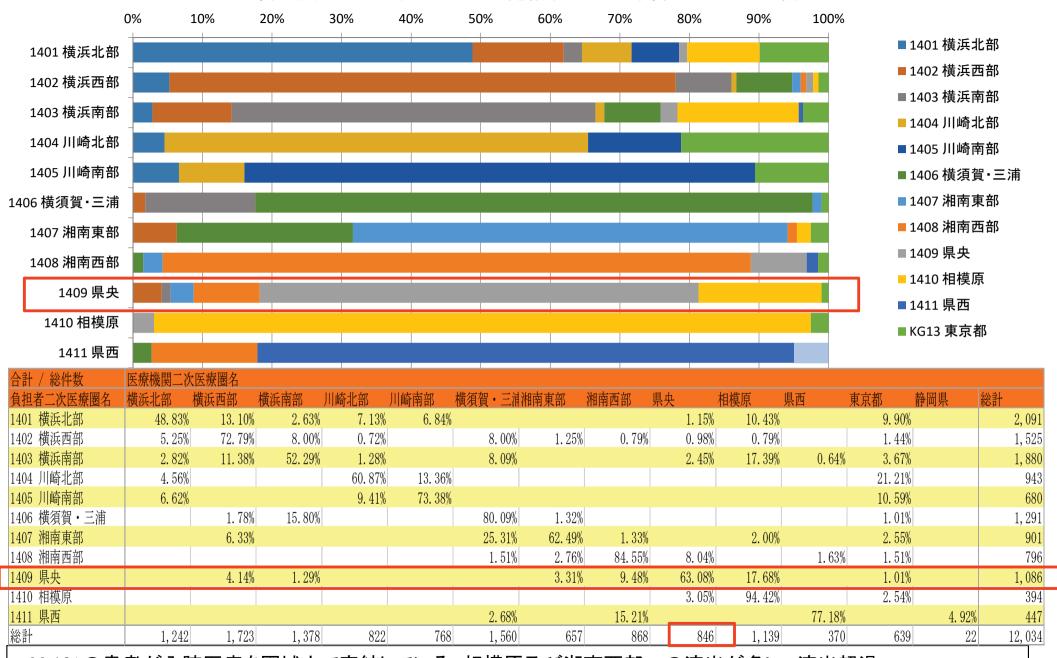
23

#### 県央地域における肝がんの自己完結率(平成28年度NDBデータ:入院)



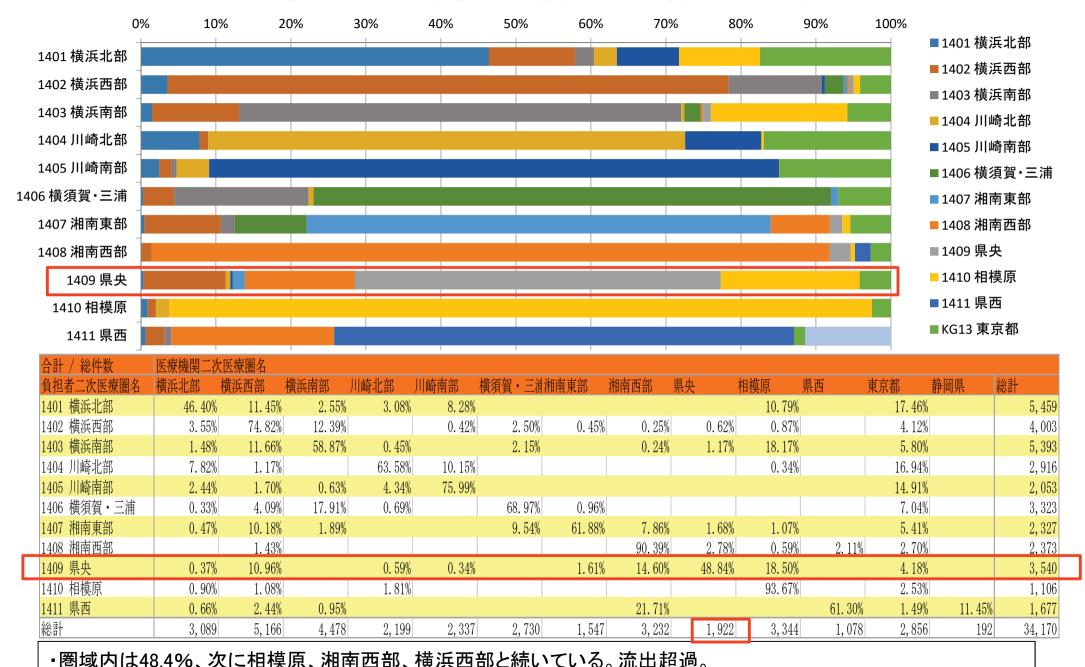
・57.0%の患者が入院医療を圏域内で完結している。相模原、横浜西部及び湘南西部への流出が多い。流出超過。

#### 県央地域における乳がんの自己完結率(平成28年度NDBデータ:入院)

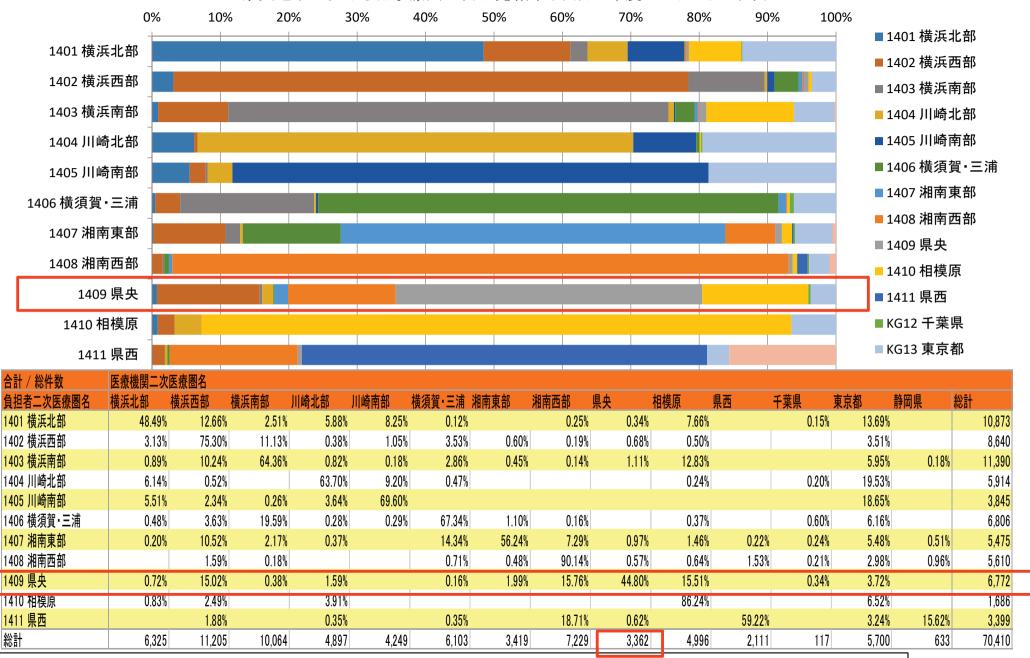


・63.1%の患者が入院医療を圏域内で完結している。相模原及び湘南西部への流出が多い。流出超過。

#### 県央地域における化学療法の自己完結率(平成28年度NDBデータ:入院)

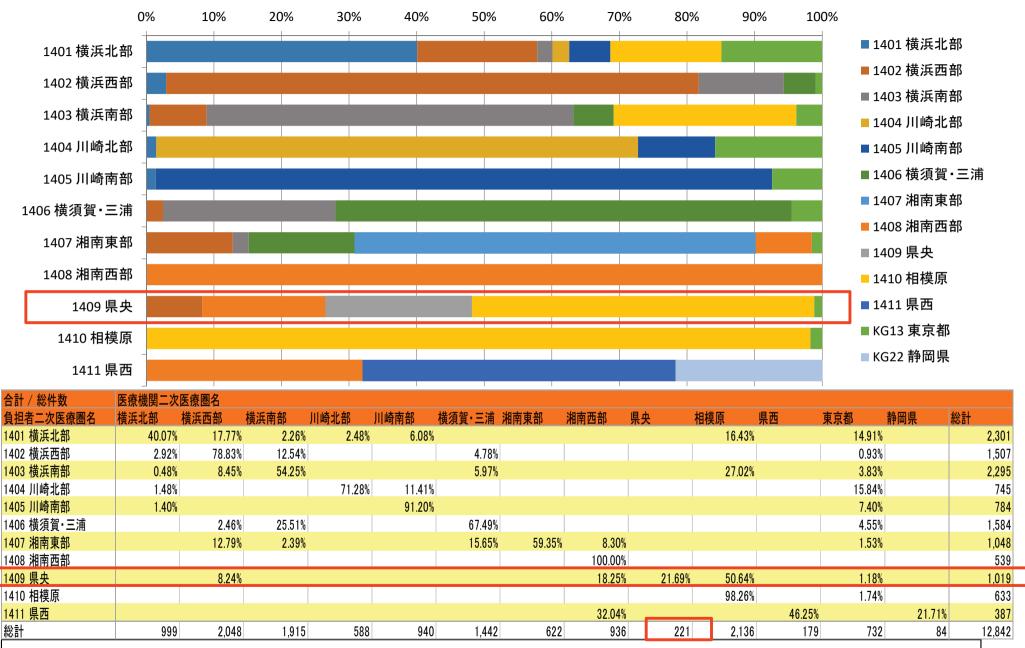


#### 県央地域における化学療法の自己完結率(平成28年度NDBデータ:外来)



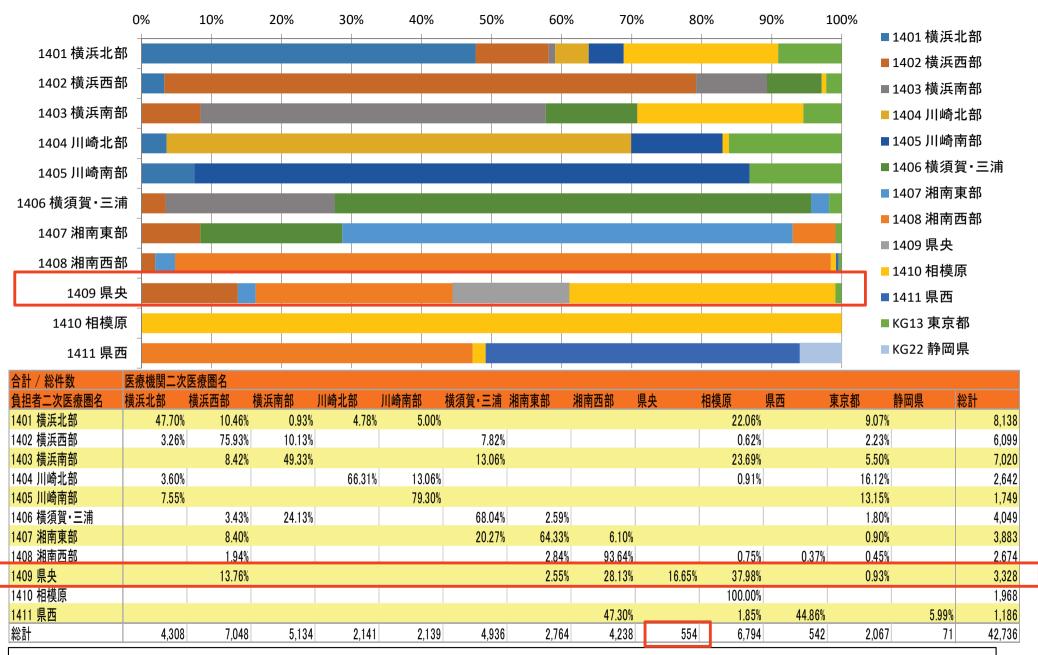
・圏域内は44.8%、次に湘南西部、相模原、横浜西部と続いている。流出超過。

#### 県央地域における放射線治療の自己完結率(平成28年度NDBデータ:入院)



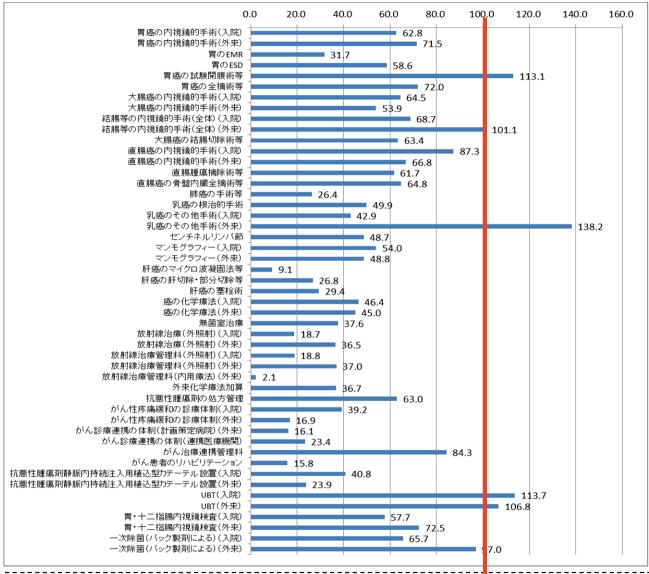
・圏域内は21.7%。50.6%が相模原へ、18.3%が湘南西部へ流出している。流出超過。

#### 県央地域における放射線治療の自己完結率(平成28年度NDBデータ:外来)



・圏域内は16.7%。38.0%が相模原へ、28.1%が湘南西部へ、13.8%が横浜西部へ流出している。流出超過。

#### 県央地域におけるがん関連の医療的行為に関する 年齢調整標準化レセプト出現比(SCR)の比較(平成28年度NDBデータ)



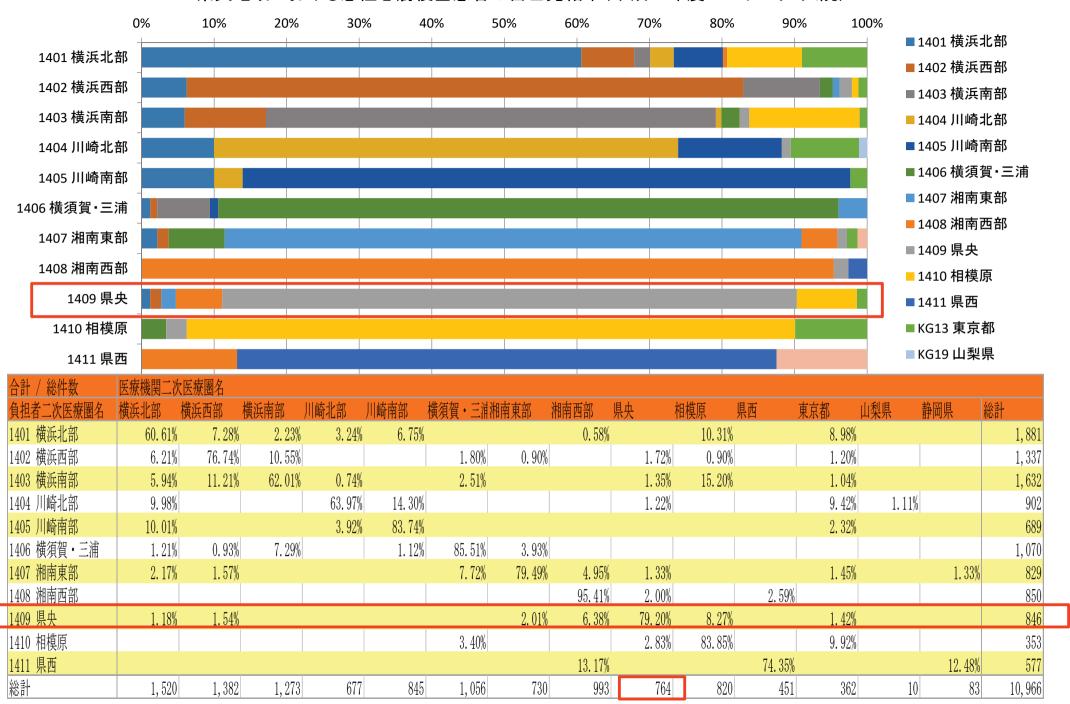
指標名	区分	県央
がん診療連携拠点病院による集学的治療の体制	入院	17.
胃癌の内視鏡的手術(入院)	入院	62.
胃癌の内視鏡的手術(外来)	外来	71.
胃のEMR	入院	31.
胃のESD	入院	58.
胃癌の試験開腹術等	入院	113.
胃癌の全摘術等	入院	72.
大腸癌の内視鏡的手術(入院)	入院	64.
大腸癌の内視鏡的手術(外来)	外来	53.
結腸等の内視鏡的手術(全体)(入院)	入院	68.
結腸等の内視鏡的手術(全体)(外来)	外来	101
大腸癌の結腸切除術等	入院	63
直腸癌の内視鏡的手術(入院)	入院	87
直腸癌の内視鏡的手術(外来)	外来	66
直腸腫瘍摘除術等	入院	61
直腸癌の骨盤内臓全摘術等	入院	64
肺癌の手術等	入院	26
乳癌の根治的手術	入院	49
乳癌のその他手術(入院)	入院	42
乳癌のその他手術(外来)	外来	138
センチネルリンパ節	入院	48
マンモグラフィー (入院)	入院	54
マンモグラフィー(外来)	外来	48
肝癌のマイクロ波凝固法等	入院	9
肝癌の肝切除・部分切除等	入院	26
肝癌の塞栓術	入院	29
癌の化学療法(入院)	入院	46
癌の化学療法(外来)	外来	45
無菌室治療	入院	37
放射線治療(外照射)(入院)	入院	18
放射線治療(外照射)(外来)	外来	36
放射線治療管理料(外照射)(入院)	入院	18
	外来	37
放射線治療管理料(内用療法)(外来)	外来	2
外来化学療法加算	外来	36
抗悪性腫瘍剤の処方管理	外来	63
がん性疼痛緩和の診療体制(入院)	入院	39
がん性疼痛緩和の診療体制(外来)	外来	16
がん診療連携の体制(計画策定病院)(外来)	外来	16
がん診療連携の体制(連携医療機関)	外来	23
がん治療連携管理料	外来	84
がん患者のリハビリテーション	入院	15
抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置(入院)	入院	40
抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置(外来)	外来	23
UBT(入院)	入院	113
UBT(外来)	外来	106
胃・十二指腸内視鏡検査(入院)	入院	57
胃・十二指腸内視鏡検査(外来)	外来	72
一次除菌(バック製剤による)(入院)	入院	65
一次除菌(バック製剤による)(外来)	外来	97

#### <SCRとは>

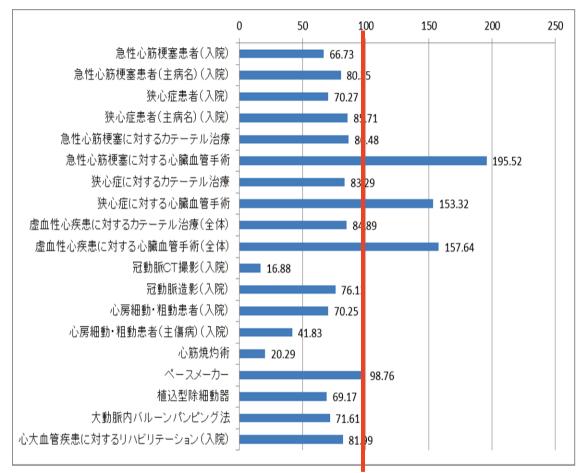
- ・全国の年齢構成別の平均レセプト数に占める当該地域の年齢構成別のレセプト数(全国の平均像に対する比)
- ・SCR=Σ年齢構成別レセプト数×100/Σ年齢階級別人口×全国の年齢構成別レセプト出現率(※年齢は、原則5歳刻みで計算)
- ・流出入がなければ、100よりも大きければ医療充実又は提供過剰、少なければ抑制的に提供又は提供過少を意味する(100は全国平均)

## 急性心筋梗塞

#### 県央地域における急性心筋梗塞患者の自己完結率(平成28年度NDBデータ:入院)



#### 県央地域における急性心筋梗塞関連の医療的行為に関する 年齢調整標準化レセプト出現比(SCR)の比較(平成28年度NDBデータ)



中分類	指標名	区分	県央
虚血性心疾患	急性心筋梗塞患者 (入院)	入院	66.73
虚血性心疾患	急性心筋梗塞患者(主病名)(入院)	入院	80.35
虚血性心疾患	狭心症患者 (入院)	入院	70.27
虚血性心疾患	狭心症患者(主病名)(入院)	入院	85.71
虚血性心疾患	急性心筋梗塞に対するカテーテル治療	入院	86.48
虚血性心疾患	急性心筋梗塞に対する心臓血管手術	入院	195.52
虚血性心疾患	狭心症に対するカテーテル治療	入院	83.29
虚血性心疾患	狭心症に対する心臓血管手術	入院	153.32
虚血性心疾患	虚血性心疾患に対するカテーテル治療(全体)	入院	84.89
虚血性心疾患	虚血性心疾患に対する心臓血管手術(全体)	入院	157.64
虚血性心疾患	冠動脈CT撮影(入院)	入院	16.88
虚血性心疾患	冠動脈造影 (入院)	入院	76.12
不整脈	心房細動・粗動患者(入院)	入院	70.25
不整脈	心房細動・粗動患者(主傷病)(入院)	入院	41.83
不整脈	心筋焼灼術	入院	20.29
不整脈	ペースメーカー	入院	98.76
不整脈	植込型除細動器	入院	69.17
その他	大動脈内バルーンパンピング法	入院	71.61
その他	心大血管疾患に対するリハビリテーション(入院)	入院	81.99

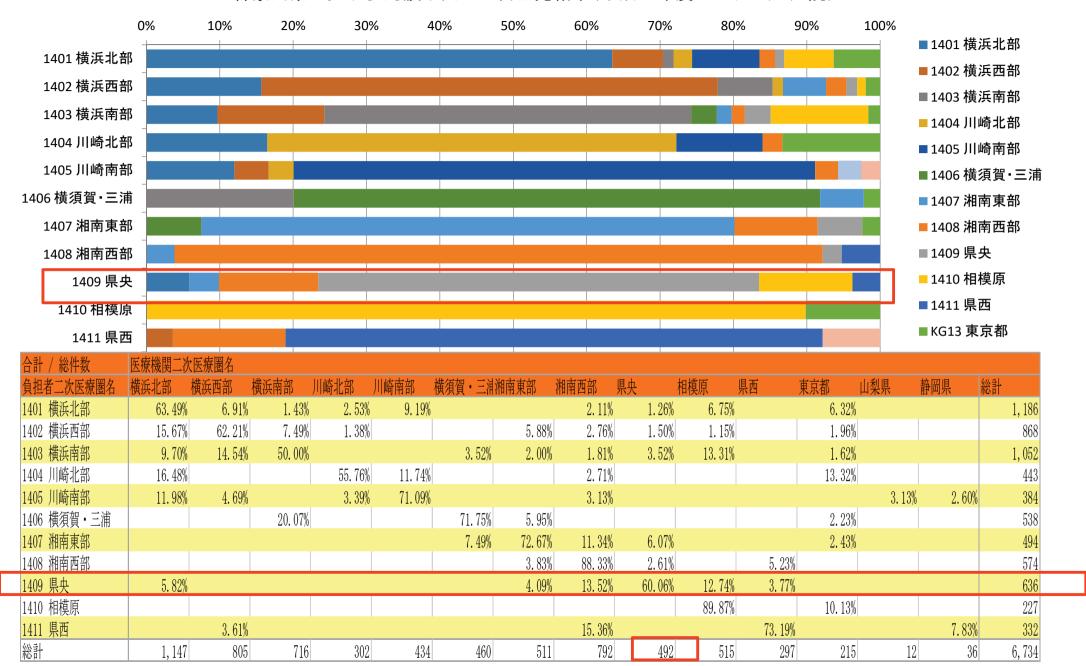
#### <SCRとは>

- ・全国の年齢構成別の平均レセプト数に占める当該地域の年齢構成別のレセプト数(全国の平均像に対する比)
- ・SCR=Σ年齢構成別レセプト数×100/Σ年齢階級別人口×全国の年齢構成別レセプト出現率
- (※年齢は、原則5歳刻みで計算)
- ・流出入がなければ、100よりも大きければ医療充実又は提供過剰、少なければ抑制的に提供又は提供過少を意味する(100は全国平均)

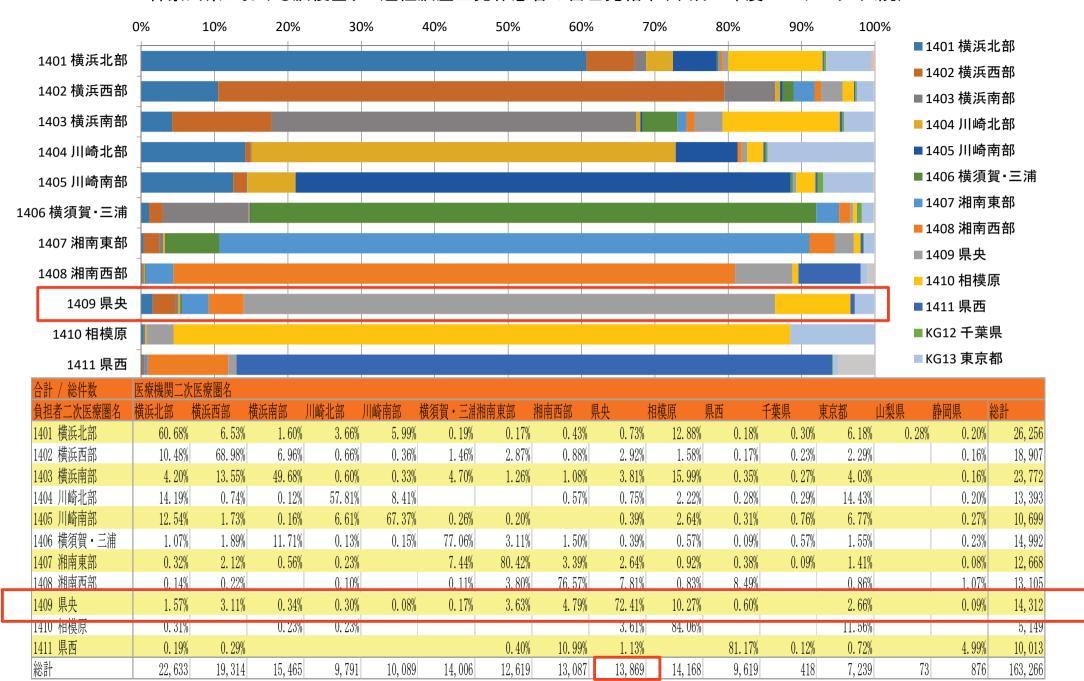
#### ・虚血性心疾患及び狭心症に対する心臓血管手術件数は、全国平均を大きく上回っている。

# 腦卒中

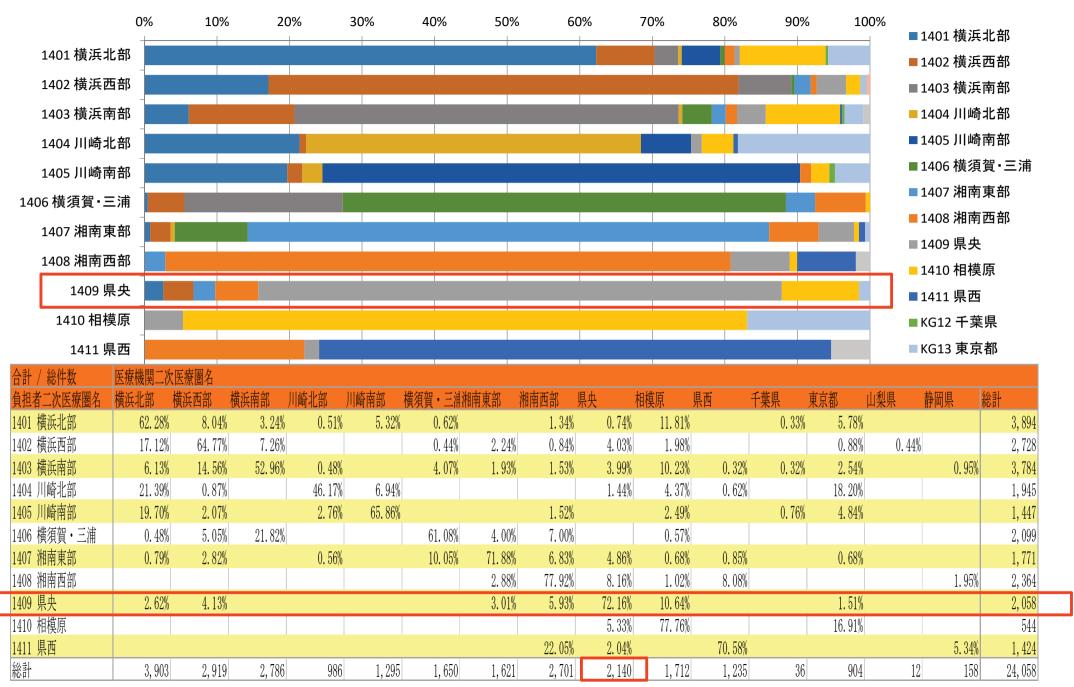
#### 神奈川県におけるくも膜下出血の自己完結率(平成28年度NDBデータ:入院)



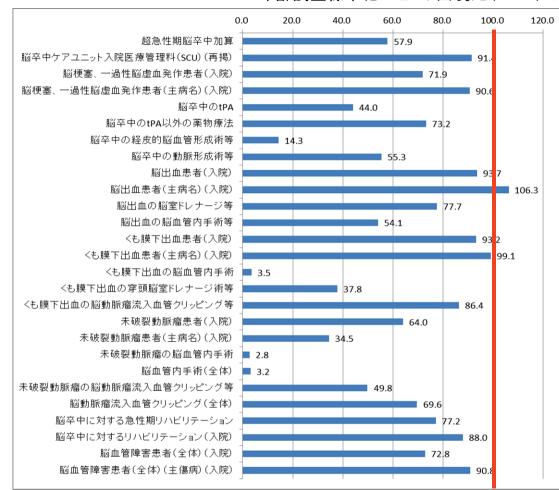
#### 神奈川県における脳梗塞、一過性脳虚血発作患者の自己完結率(平成28年度NDBデータ:入院)



### 神奈川県における脳出血患者の自己完結率(平成28年度NDBデータ:入院)



## 県央地域における脳卒中関連の医療的行為に関する 年齢調整標準化レセプト出現比(SCR)の比較(平成28年度NDBデータ)



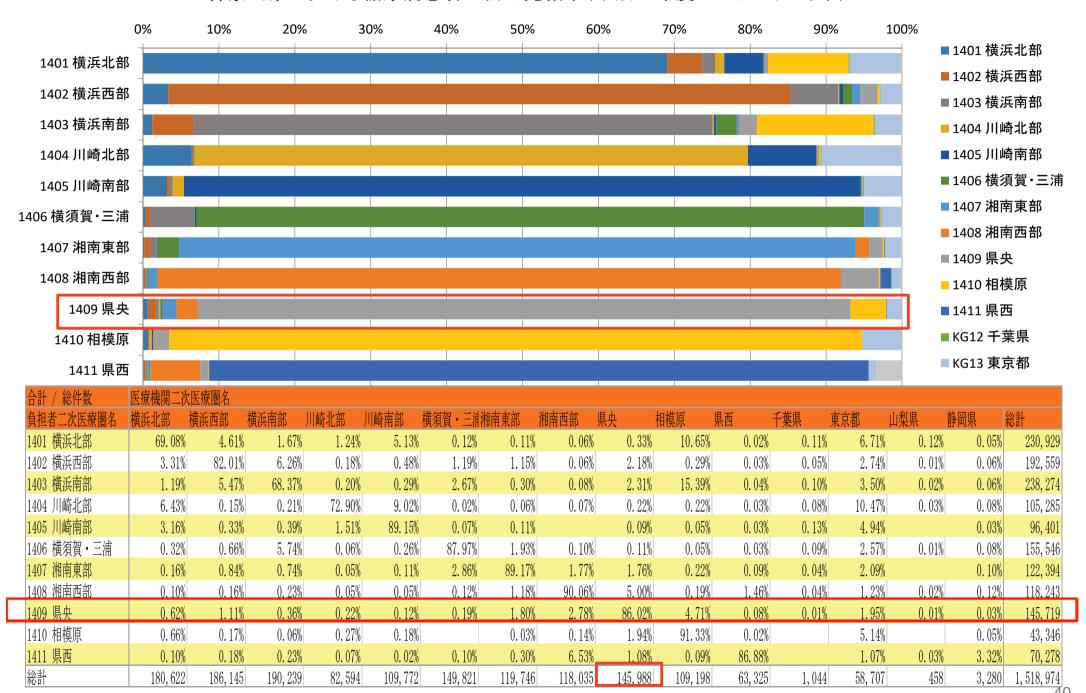
指標名	区分	県央
超急性期脳卒中加算	入院	57.9
脳卒中ケアユニット入院医療管理料(SCU)(再掲)	入院	91.4
脳梗塞、一過性脳虚血発作患者(入院)	入院	71.9
脳梗塞、一過性脳虚血発作患者(主病名)(入院)	入院	90.6
脳卒中のtPA	入院	44.0
脳卒中のtPA以外の薬物療法	入院	73.2
脳卒中の経皮的脳血管形成術等	入院	14.3
脳卒中の動脈形成術等	入院	55.3
脳出血患者(入院)	入院	93.7
脳出血患者(主病名)(入院)	入院	106.3
脳出血の脳室ドレナージ等	入院	77.7
脳出血の脳血管内手術等	入院	54.1
くも膜下出血患者(入院)	入院	93.2
くも膜下出血患者(主病名)(入院)	入院	99.1
くも膜下出血の脳血管内手術	入院	3.5
くも膜下出血の穿頭脳室ドレナージ術等	入院	37.8
くも膜下出血の脳動脈瘤流入血管クリッピング等	入院	86.4
未破裂動脈瘤患者(入院)	入院	64.0
未破裂動脈瘤患者(主病名)(入院)	入院	34.5
未破裂動脈瘤の脳血管内手術	入院	2.8
脳血管内手術(全体)	入院	3.2
未破裂動脈瘤の脳動脈瘤流入血管クリッピング等	入院	49.8
脳動脈瘤流入血管クリッピング(全体)	入院	69.6
脳卒中に対する急性期リハビリテーション	入院	77.2
脳卒中に対するリハビリテーション (入院)	入院	88.0
脳血管障害患者(全体)(入院)	入院	72.8
脳血管障害患者(全体)(主傷病)(入院)	入院	90.8

#### <SCRとは>

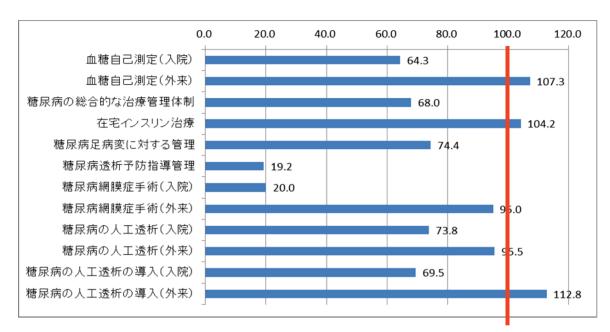
- ・全国の年齢構成別の平均レセプト数に占める当該地域の年齢構成別のレセプト数(全国の平均像に対する比)
- ・SCR=5年齢構成別レヤプト数×100/5年齢階級別人ロ×全国の年齢構成別レヤプト出現率
- (※年齢は、原則5歳刻みで計算)
- ・流出入がなければ、100よりも大きければ医療充実又は提供過剰、少なければ抑制的に提供又は提供過少を意味する(100は全国平均)

# 糖尿病

## 神奈川県における糖尿病患者の自己完結率(平成28年度NDBデータ:外来)



# 県央地域における糖尿病関連の医療的行為に関する 年齢調整標準化レセプト出現比(SCR)の比較(平成28年度NDBデータ)



指標名	区分	県央
血糖自己測定(入院)	入院	64.3
血糖自己測定(外来)	外来	107.3
糖尿病の総合的な治療管理体制	外来	68.0
在宅インスリン治療	外来	104.2
糖尿病足病変に対する管理	外来	74.4
糖尿病透析予防指導管理	外来	19.2
糖尿病網膜症手術(入院)	入院	20.0
糖尿病網膜症手術(外来)	外来	95.0
糖尿病の人工透析(入院)	入院	73.8
糖尿病の人工透析(外来)	外来	95.5
糖尿病の人工透析の導入 (入院)	入院	69.5
糖尿病の人工透析の導入(外来)	外来	112.8

#### <scrとは>

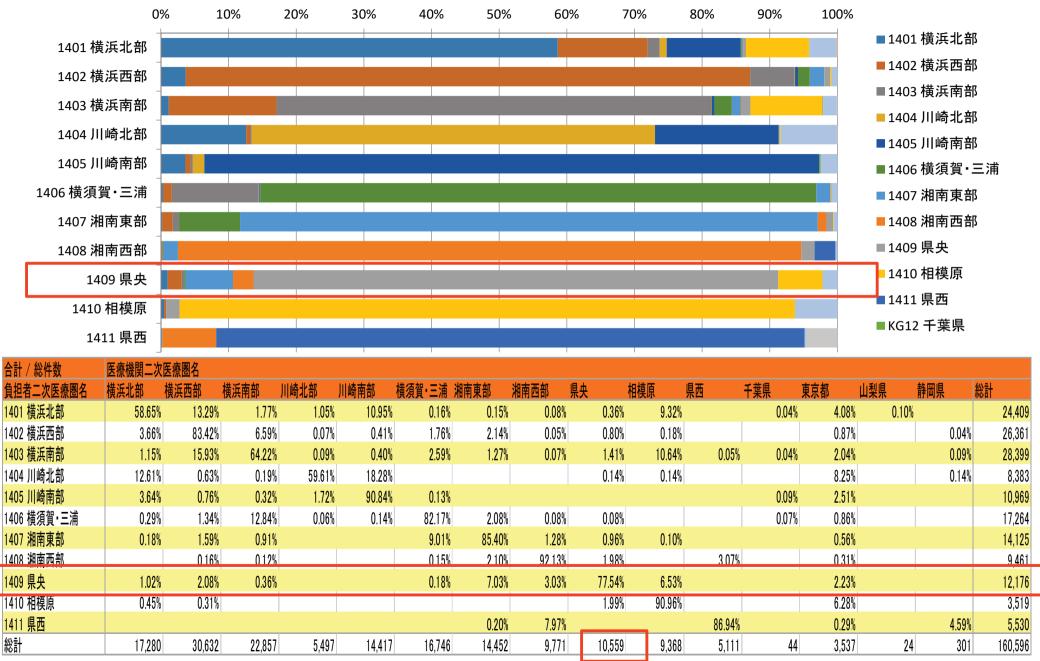
- ・全国の年齢構成別の平均レセプト数に占める当該地域の年齢構成別のレセプト数(全国の平均像に対する比)
- ・SCR= Σ年齢構成別レセプト数×100/Σ年齢階級別人口×全国の年齢構成別レセプト出現率

(※年齢は、原則5歳刻みで計算)

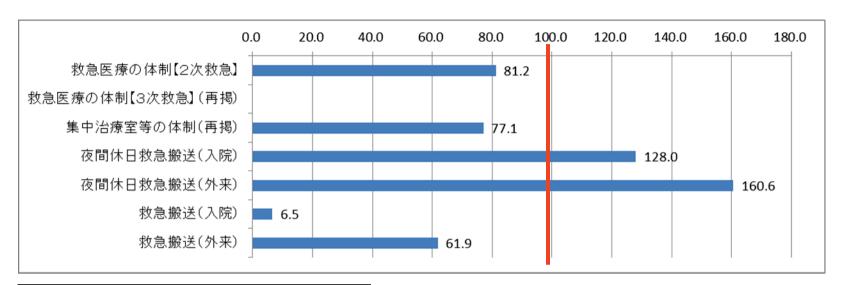
・流出入がなければ、100よりも大きければ医療充実又は提供過剰、少なければ抑制的に提供又は提供過少を意味する(100は全国平均)

# 救急

# 神奈川県における救急医療の自己完結率·二次救急(平成28年度NDBデータ:入院)



# 県央地域における救急関連の医療的行為に関する 年齢調整標準化レセプト出現比(SCR)の比較(平成28年度NDBデータ)



指標名	区分	県央
救急医療の体制【2次救急】	入院	81.2
救急医療の体制【3次救急】(再掲)	入院	
集中治療室等の体制 (再掲)	入院	77.1
夜間休日救急搬送(入院)	入院	128.0
夜間休日救急搬送(外来)	外来	160.6
救急搬送 (入院)	入院	6.5
救急搬送(外来)	外来	61.9

#### <SCRとは>

・全国の年齢構成別の平均レセプト数に占める当該地域の年齢構成別のレセプト数(全国の平均像に対する比)

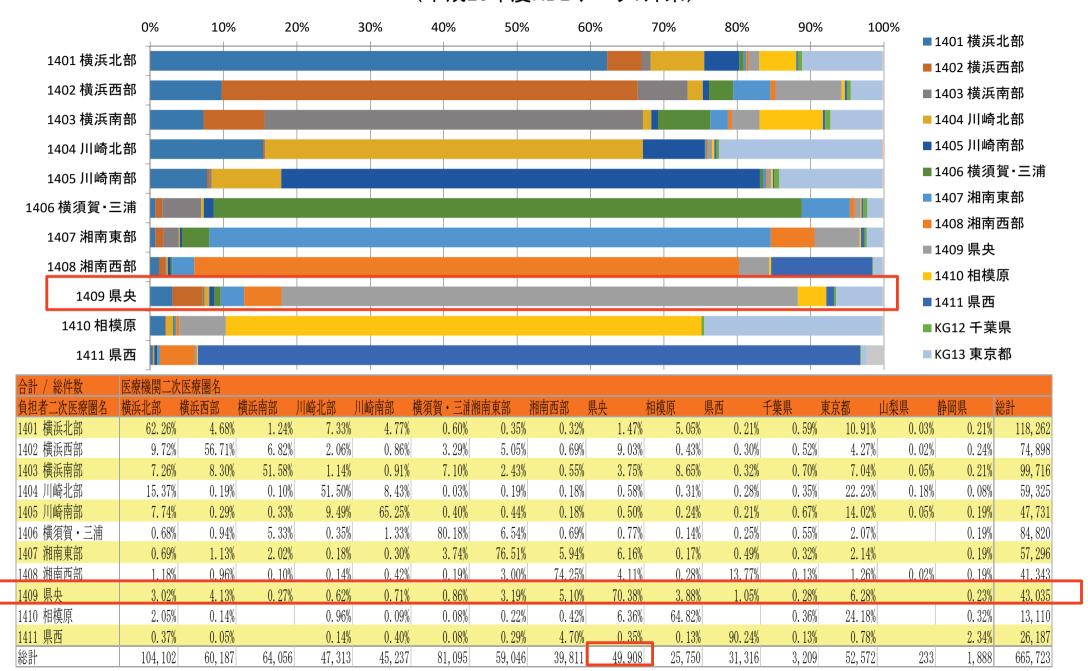
・SCR=Σ年齢構成別レセプト数×100/Σ年齢階級別人口×全国の年齢構成 別レセプト出現率(※年齢は、原則5歳刻みで計算)

・流出入がなければ、100よりも大きければ医療充実又は提供過剰、少なければ抑制的に提供又は提供過少を意味する(100は全国平均)

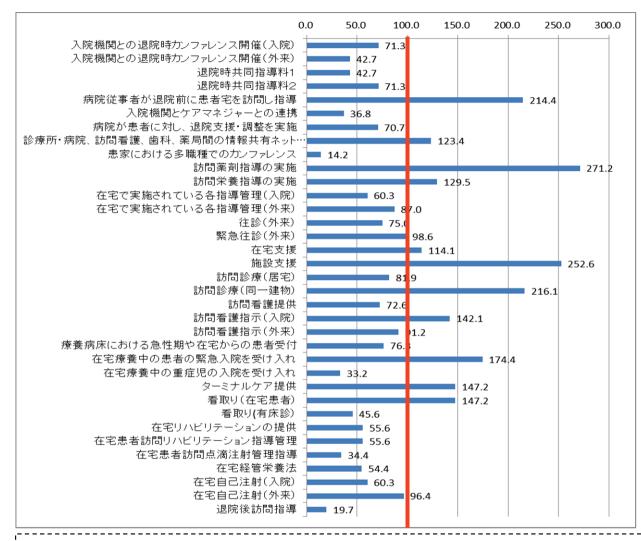
・夜間、休日の救急搬送対応は、全国平均を上回っている。 入院につながる救急搬送は、ほとんどが外部への流出超過となっている。

# 在宅医療等

# 神奈川県における在宅医療の自己完結率 (平成28年度NDBデータ:外来)



### 県央地域における在宅関連の医療的行為に関する 年齢調整標準化レセプト出現比(SCR)の比較(平成28年度NDBデータ)



入院機関との退院時カンファレンス開催 (入院)	入院	71.3
入院機関との退院時カンファレンス開催(外来)	外来	42.7
退院時共同指導料 1	外来	42.7
退院時共同指導料 2	入院	71.3
病院従事者が退院前に患者宅を訪問し指導	入院	214.4
入院機関とケアマネジャーとの連携	入院	36.8
病院が患者に対し、退院支援・調整を実施	入院	70.7
診療所・病院、訪問看護、歯科、薬局間の情報共有ネットワーク	外来	123.4
患家における多職種でのカンファレンス	外来	14.2
訪問薬剤指導の実施	外来	271.2
訪問栄養指導の実施	外来	129.5
在宅で実施されている各指導管理(入院)	入院	60.3
在宅で実施されている各指導管理(外来)	外来	87.0
往診(外来)	外来	75.0
緊急往診(外来)	外来	98.6
在宅支援	外来	114.1
施設支援	外来	252.6
訪問診療 (居宅)	外来	81.9
訪問診療(同一建物)	外来	216.1
訪問看護提供	外来	72.6
訪問看護指示 (入院)	入院	142.1
訪問看護指示(外来)	外来	91.2
療養病床における急性期や在宅からの患者受付	入院	76.3
在宅療養中の患者の緊急入院を受け入れ	入院	174.4
在宅療養中の重症児の入院を受け入れ	入院	33.2
ターミナルケア提供	外来	147.2
看取り(在宅患者)	外来	147.2
看取り(有床診)	入院	45.6
在宅リハビリテーションの提供	外来	55.6
在宅患者訪問リハビリテーション指導管理	外来	55.6
在宅患者訪問点滴注射管理指導	外来	34.4
在宅経管栄養法	外来	54.4
在宅自己注射(入院)	入院	60.3
在宅自己注射(外来)	外来	96.4
退院後訪問指導	外来	19.7

#### <SCRとは>

- ・全国の年齢構成別の平均レセプト数に占める当該地域の年齢構成別のレセプト数(全国の平均像に対する比)
- ・SCR=Σ年齢構成別レセプト数×100/Σ年齢階級別人口×全国の年齢構成別レセプト出現率(※年齢は、原則5歳刻みで計算)
- ・流出入がなければ、100よりも大きければ医療充実又は提供過剰、少なければ抑制的に提供又は提供過少を意味する(100は全国平均)

・訪問薬剤指導、施設支援、訪問診療(同一建物)、病院従事者による退院前患者宅訪問指導等は、全国平均を大きく上回っている。

# その他

# 外国人住民の状況

### 平成30年1月1日住民基本台帳人口•世帯数(総数)

## 平成30年1月1日住民基本台帳人口,世帯数(外国人住民)

		平成	30年				外国人住民の			
都道府県名	<b>並</b> 府県名 人口		世帯数	都道府県名		人口	世帯数	比率		
	男	女	計A	世市剱		男	女	計 B	世帝剱	F=D/E (%)
合計	62, 298, 889	65, 408, 370	127, 707, 259	58, 007, 536	合計	1, 200, 644	1, 297, 012	2, 497, 656	1, 393, 537	1.96%
神奈川県	4, 579, 405	4, 591, 869	9, 171, 274	4, 280, 874	神奈川県	95, 162	103, 342	198, 504	94, 033	2.16%

出典:住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査(総務省自治行政局住民制度課)(政府統計の総合窓口HP)

(注)「外国人住民の比率」は神奈川県厚木保健福祉事務所が統計数値に基づいて算出

### 平成30年1月1日住民基本台帳人口•世帯数

											外国人住民の		
	日本人				外国人				合計				比率
	男	女	計	前年比増減数	男	女	計 D	前年比増減数	男	女	計 E	前年比増減数	F=D/E (%)
神奈川県 計	4, 484, 243	4, 488, 527	8, 972, 770	3, 240	95, 162	103, 342	198, 504	12, 645	4, 579, 405	4, 591, 869	9, 171, 274	15, 885	2.16%
市計	4, 339, 300	4, 340, 209	8, 679, 509	4,677	92,650	100, 663	193, 313	12, 167	4, 431, 950	4, 440, 872	8, 872, 822	16, 844	2.18%
町村 計	144, 943	148, 318	293, 261	-1, 437	2, 512	2,679	5, 191	478	147, 455	150, 997	298, 452	-959	1.74%
厚木市	113, 056	105, 832	218, 888	-274	3, 481	3, 285	6, 766	562	116, 537	109, 117	225, 654	288	3.00%
大和市	115, 753	114, 572	230, 325	899	2,978	3, 372	6, 350	342	118, 731	117, 944	236, 675	1, 241	2.68%
海老名市	65, 256	64, 150	129, 406	566	1, 192	1, 191	2, 383	162	66, 448	65, 341	131, 789	728	1.81%
座間市	64, 559	63, 251	127,810	209	1, 285	1, 424	2,709	222	65,844	64, 675	130, 519	431	2.08%
綾瀬市	41, 594	40, 136	81, 730	-334	1,822	1,511	3, 333	217	43, 416	41, 647	85, 063	-117	3.92%
愛川町	20, 027	18, 335	38, 362	-302	1, 306	1, 175	2, 481	190	21, 333	19, 510	40, 843	-112	6.07%
清川村	1, 533	1, 425	2,958	-60	5	16	21	0	1,538	1, 441	2, 979	-60	0.70%
県央構想区域 計	421, 778	407, 701	829, 479	704	12,069	11, 974	24, 043	1,695	433, 847	419, 675	853, 522	2, 399	2.82%

出典:住民基本台帳人口 平成30年1月1日現在(確報値)(神奈川県HP)

(注)「県央構想区域 計」及び「外国人住民の比率」は神奈川県厚木保健福祉事務所が統計数値に基づいて算出